

## 主題：信徒

メッセージ 36

### 彼らの現在——信仰の家族である召会の中で信心によって生きる

聖書：ヘブル 11:1, 5-6. 12:1-2 前半. ローマ 10:17. ガラテヤ 2:20. 6:10. II コリント 4:13, 16-18

#### I. 「わたしたちの信心の創始者、また完成者であるイエスを、ひたすら見つめていなさい」——ヘブル12:2前半：

- A. 「ひたすら見つめていなさい」とは、他のものすべてから目を離し、一つのものに完全に注目することを表します—— 1-2 前半. マタイ 5:8. ルカ 10:38-42. ヘブル 11:5-6。
- B. わたしたちの天然の人の中で、わたしたちには信じる能力がありません。わたしたちが救われた信心は、わたしたちが神から受け取った尊い信心であり、この信心は実はキリストご自身です—— II ペテロ 1:1. 参照、コロサイ 1:12。
- C. わたしたちがイエスをひたすら見つめるとき、彼は命を与える霊として（I コリント 15:45）彼ご自身、すなわち、彼の信じる要素をもってわたしたちに注入します。そのとき、自然とある種の信心がわたしたちの存在の中で生じ、わたしたちは彼を信じる信心を持ちます。
- D. この信心はわたしたち自身のものではなく、信じる要素としての彼ご自身をわたしたちの中へと分け与える方のものです。それは、彼がわたしたちのために信じるためです。ですから、彼ご自身がわたしたちの信心です。わたしたちは、わたしたちの信心としての彼によって生きています。すなわち、わたしたちは彼の信心によって生きています——ガラテヤ 2:20。

#### II. 「信じるとは、望んでいる事柄を実体化することであり、見ていない事柄を確認することです」——ヘブル11:1：

- A. 実体化することは、わたしたちが実質を認識することができるようにする能力です。わたしたちの五感の働きは、実体化する働きです。実体化する働きの中で、五感は機能して客観的な項目をすべてわたしたちの中に移し入れ、わたしたちの主観的な経験とならせます。
- B. 五感は、物質的な世界におけるすべてをわたしたちの中へと実体化します。わたしたちの信じる霊は（わたしたちの人の霊とミングリングされた聖霊）は、霊的な世界のすべてをわたしたちの中へと実体化する機能です—— II コリント 4:13：
  - 1. 目が見るためであり、耳が聞くためであり、鼻がかぐためであるように、わたしたちのミングリングされた信じる霊は、わたしたちがすべてを含む実際の霊としてのキリストのすべてをわたしたちの中へと実体化する器官です—— 16-18 節. ヨハネ 4:24。
  - 2. わたしたちの信じる霊を活用しなければ、実際の霊としてのキリストであるすべては、わたしたちにとって実在しないものとなります。わたしたちの霊を活用することは、実際の霊としてのキリストのすべてをわたしたちの中へと受け入れる

という行動です—— 16:13. I テモテ 4:7。

3. 信心としてのキリストの度量をさらに多く受けるために、わたしたちは彼の御名を呼び求め、彼に祈り、彼の言葉を祈り読みすることによって、霊を活用して彼と接触する必要があります——ヘブル 4:12, 16. ローマ 10:12. II テモテ 2:22. エペソ 6:17-18。

C. わたしたちの心が活動的であるときはじめて、霊を活用することは役に立ちます。もし人の心が無関心であるなら、霊は内側に閉じ込められ、その能力を明らかに示すことはできません——マタイ 5:3, 8. 詩 78:8. エペソ 3:16-17. ヘブル 3:7-8, 12-13 :

1. わたしたちの心は、わたしたちの魂のすべての部分、すなわち、思い、感情、意志 (マタイ 9:4. ヘブル 4:12. 使徒 11:23. ヨハネ 14:1. 16:22) プラスわたしたちの霊の一つの部分、すなわち、良心 (ヘブル 10:22. I ヨハネ 3:20) から成っているものです。

2. 心は命の入り口と出口、すなわち、「命のスイッチ」です。もし心が正しくないなら、霊の中の命は妨げられ、命の法則は自由に、障害なしに働いて、わたしたちの存在のあらゆる部分に到達することができません。命には大きな力がありますが、この大きな力は、わたしたちの小さな心によって制御されます——箴 4:23. マタイ 12:33-37. 参照、エゼキエル 36:26-27。

D. わたしたちは、霊を活用することと愛する心両方を必要とし、信心、すなわち、愛を通して働く信心によって生きる必要があります——ガラテヤ 5:6:

1. 愛する心とは、感情が神を愛し、神を欲し、神を求め渴き、神を慕い求める心であって、主との個人的で、愛情深い、密かな、霊的な交わりを持つ心です——詩 42:1-2. 雅 1:2-4 前半。

2. わたしたちは、何度も何度もわたしたちの心を主にむけて、継続的にわたしたちの心を更新するようにしなければなりません。それは、わたしたちが主に対して新しい、新鮮な愛を持つためです——II コリント 3:16. 詩歌 546 (英文). 詩歌 547 (英文)。

3. 霊的な経験はすべて、心の中の愛をもって開始します。もしわたしたちが主を愛さないなら、どのような種類の霊的な経験も受けることは不可能です——ヨハネ 21:15-17. マタイ 26:6-13. 28:18-20。

### III. 「信じることは聞くことから来るのであり、聞くことはキリストの言葉によるのです」

——ローマ 10:17 :

A. わたしたちは、完全に主に向けられた心をもってわたしたちの霊を活用し、すべての種類の祈りによって、神の言葉を受け取る必要があります。これは神の言葉と信じることを共に混ぜ合わせることです。それは、言葉がわたしたちに益をもたらし、わたしたちを神の増し加わりによって成長させるためです——マルコ 4:23-25. エペソ 6:17-18. II コリント 3:14-16. ヘブル 4:2. コロサイ 2:19。

B. 信じることは、書かれた神の言葉 (聖書——ルカ 24:44-45. ヨハネ 5:39-40) の中の神の生ける言葉 (キリスト—— 1:1) に触れることによって、適用された神の言

葉（その霊——エペソ 6:17. ヨハネ 6:63）を聞くことから来ます。

**IV. その霊とからだの中で、わたしたちは信じることによって悪魔に抵抗します—— I ペテロ 5:8-9 :**

- A. わたしたちが信じるのは、主の現れが悪魔のわざを破壊するためであり、主の死がサタンを滅ぼしたということです—— I ヨハネ 3:8. ヘブル 2:14。
- B. わたしたちが信じるのは、主の復活がサタンを辱め、主の昇天がサタンの力を超越するという事です——コロサイ 2:12-15, 20. 3:1. エペソ 1:19-23. 2:6. 6:10-11, 13。

**V. 「信仰の家族」である召会において、わたしたちは互いの信心によって励まされ、主の再臨のために、自分自身の用意を整えて、彼の花嫁となります——ガラテヤ 6:10. ローマ 1:12. 啓 19:7 :**

- A. 信心とは、神はあること、またわたしたちは無であることを信じることです。信心とは、神を生き、神を表現し、神を人に供給することであって、そうして、かつてジョン・ネルソン・ダービーが次のように言ったことにしたがって自分自身を無とすることです。「おお、何という喜び、何も持たず、何ものでもなく、何も見ず、栄光の中の生けるキリストを見て、この地上での彼の權益のほかは何も顧みない」——ヘブル 11:5-6. ガラテヤ 2:20. II コリント 4:13, 16-18。
- B. 信徒たちは、信じることによって勝利の生活、喜びにあふれた生活を生きて、キリストの再臨の時に、宝として彼によって見いだされます。彼らは、信心の結果（成果）である魂の救いを受ける用意ができています—— I ペテロ 1:8-9. ルカ 18:8. マタイ 25:21, 23。